



# K 中 通 信

学校だより 5号  
令和2年7月20日  
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

## 【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）

だいじょうぶ 未来は 元気

校長 星野 久美子

今年と同様に7月20日に発行された昨年の学校だよりには、「さて、明日からは夏休みです。」という表現があります。感染症による臨時休業のため今年度の夏休みは8月3日から14日となり、7月一杯は授業を行います。4・5月の臨時休業、6月1日からは2週間の分散登校がありました。「だいじょうぶ 未来は 元気」というスローガンを子どもたちに向けて掲出しましたが、毎朝スローガンを見上げながら自分に言い聞かせていた教職員も多かったと思います。このような状況の中ではありますが、保護者の方々、地域の方々からご協力をいただき、徐々に通常の学校生活が戻ってきました。7月からは部活動も再開し、仮入部した1年生に先輩たちが様々なアドバイスを与えている様子を見ると、成長の上で人との関わりは欠かせないものであると痛感します。今後の感染状況についてはまだまだ予断を許さないところではありますが、三密を避け物理的な距離を取るなど感染防止に努めながら、子どもたちの成長に必要な体験を大切にしていきたいと思えます。

短い夏休みではありますが、運動系の部活動では対外試合が予定されています。どうか体調に留意し、中学校での部活動を締めくくる節目の試合を楽しんで欲しいと思えます。

今だからこそ見えること

副校長 田中 光弘

仕事に一区切りがついたとき、私は校内を巡回して、授業中の様子を見るようにしています。「あの人は誰だろう」と思っていた人も少なからずいるかと思えます。副校長をしていると生徒と接する機会が少なく、自分から見に行かないと雰囲気や様子がわかりません。だから、時間のあるときに校舎内をあてもなく歩き回っています。

授業を見まわっている中で一番に感じるがあります。それは「ちゃんと座って授業を受けている」ということです。そんなの当たり前だと思うことなのでしょう。ですが、そうではない状況も時としてあるのです。

コロナウイルスの影響でいつもと違う始まりとなり、本来できるはずだったことが制限され、焦りや悔しい思いを抱えながら生活をしている人も必ずいるはずです。そんな中でも落ち着いて授業を受けようとしている。全力で定期テストに臨もうとしている。それがどれだけ素晴らしく、大切なことか。今もって再認識しています。

本日まで何号もの学級通信が出されてきました。生徒のコメントとして多く書かれていたのが「日常のありがたさ」です。短い夏とはなりますが、その日々の中で、自分のできる当たり前を信じて進んでいかれることを、心より期待しています。